

## まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 10 月 30 日（月） 18：30～20：20

場 所：総合福祉センター「しゃるる」大ホール

出席者：41 人

### 1. 開会

### 2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

### 3. 懇談

（1） これからのまちづくりについて（資料①）

（2） 自由懇談

教育長説明

### 4. その他

○ごみ分別内容の変更（資料②）

### 5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：3 点程話しをさせていただきます。7 月にまちづくり懇談会の席上で栗の木事業で質問された方がいましたが、その時の課長さんが後日調べて返事しますと書いています。今年 9 月に議会で質問された際も後日調べてみるような返答だったと思う。返事すると言って返事しないというのはいかななものかと思う。2 点目ですが、10 月に議会の特別委員会があったんですが、町長の冒頭の挨拶でもありましたくりふとの件ですが、議員の方は地権者の名前を言わないでくださいと言ったんですが、主幹が個人名を全員晒して言ったんです。これっていかななものかと思います。その後、音声無かったんですが、主幹がすいませんと発言をしている。それってまずかったからと言って発言しているんです。役場で動画を削除するとかするような配慮すればよろしいんじゃないかと思います。その後、主

幹の含み笑いというのか不遜な態度に感じたんです。資料見てないからわからないですが、金額が違っていたんですよね。仕事をする上でどうかと思ったんです。3点目ですが、7月13日に地域おこし協力隊の方が飲酒運転をした。9月位に私知ったんですが、どうしたんですかと聞いたら担当課の人が黙っていてくれと言われた。これって隠蔽なのかなと思っています。

町長：1点目の栗の木事業の関係ですが、まちづくり懇談会の際に出された質問に対して調べて回答するという事で、まだ回答が出てないという事であればその方にお詫び申し上げますし、議会でも出ていますのでしっかりと調べた上で対応させていただきます。2点目ですが、町民の皆さんの信頼を裏切る行為を行ってしまったという事で、役場の不適切な業務執行事案で冒頭お詫びを申し上げさせていただきました。議会のほうで調査特別委員会を開催していただいて再発防止に向けた議論を進めていただいております。私共としても議会に任せるだけではなく、自分たちでも再発防止に向けた取り組みを進めている所であります。その中で、当事者の方のお名前を述べたという事ではありますが、町と議会との中で話し合いをした上で取り扱いをした事であります。3点目ですが、地域おこし協力隊は正職員ではありませんが、公務員に準じる位置づけでありますので、報告を受けている中では、刑事上の処分が出ていないので、それが出た時に処分するものは処分しますし、隠蔽している事ではありません。

町民：栗山赤十字病院の改築について、栗山町が負担するのか、病院が負担するのか。

町長：全額町から赤十字病院に補助金を支払います。町が全額国から借入れをし、国から7割入ってきますので、3割は赤十字病院で負担をしてくれるという話しになっていますので、町からの持ち出しはないという事で整理をしています。

町民：介護人材の育成について要望ですが、学んで資格を取った後どうなるのか。他の職種と比べても給料高くない。長く現場で働けるよう道などへ働きかけ願いたい。

福祉課長：道の会合、振興局の会合へ現場の現状など要望していきたい。

町長：2025年全国で40万人近く介護人材が不足する。北海道でも2万人近く不足する事が見込まれまして、2040年位になるとどんどん不足してきてどこかで歯止めをかけなければならないという事があります。町でできる事は限界もありますので、ケアラー支援の取り組みを町から発信していく事を取り組んでいたり、他市町村との包括連携事業で介護人材の育成を地道に広げていきたいと思っていますし、国に要望する所は要望していきたい。

町民：町長のフェイスブックでまちづくり懇談会の質問があつて回答内容が載っていない。答えを載せて欲しい。もう1点ありまして、総合計画の前提条件は人口問題です。目標人口が町で設定していますが、目標の政策はどちらに向かっているのか。

町長：1点目の個人の情報発信の関係ですが、自分で思い出しながら打っている。自ら情報発信したいという考えであり、フェイスブック配信が限度であります。全体として町のホームページへ載りますのでお待ちいただきたい。2点目の人口の問題ですが、人口の推計は国の統計機関が出している推計ですが、総合計画では、関係人口を伸ばしていきたい。また、人口減少率を抑えていこうというのを目標であげていて、8年後には老年人口が生産年齢人口を上回ってしまう。経済に歪ができてくる。生産年齢人口を増やす事を目標に取り組みを考えている。

町民：平成13年から栗の事業を行っています。役場に大きい栗の木があり、何十本か植えて研究をしている。山を買って植えて研究をしている。町民がまちを作るという事を基本的に行政に頼りっぱなしにしないようにするべきであります。また、湯地で頑張っている人がいる。協力できる人がいればと思っていますが。

ブランド推進課長：森地区に記念木がありますので改めて現場を確認したい。

町長：町民の皆さんの為に町政を行っていきます。我々だけでは無しえないと思いますので町民の皆さんの協力もお願いしたい。

町民：栗山の入り口に木を伐採してはげやまとなり景観が悪くなった。栗の木と桜を植えてくれた人もいる。みんなで力を合わせて頑張っていきたい。支援もお願いしたい。

町長：今後も引き続き協力願いたい。

町民：マイナンバーカードと健康保険証を一緒にしないで健康保険証をこのまま維持して欲しいと国に要望願いたい。もう一つは雨煙別橋と公園橋で左岸工事中。右岸舗装して完了しているが、どこかの管理かお聞きしたい。

建設課長：川の氾濫が増えてきていまして、強靱化の関係で舗装もできるようになって舗装してもらっています。維持管理は北海道で管理をしています。

町民：舗装したが今年イタドリなどで歩けない状況になっている。

建設課長：現地確認して北海道に維持管理をお願いしたい事を言っているが改めて言っていきます。

町長：なぜ、マイナンバーカードを国が進めようとしたのかというと、諸外国では給付金が自治体を通すのではなく国から直接支給されるというスピーディな取り扱いをされているが、コロナにおいて日本では国が決めた事に必要とされる方に届く間に一定期間を有しました。それはパイプが無かったからで、そのパイプの重要な役割をマイナンバーカードだと考えています。健康保険証の紐づけを止めるとか、普及促進を止めるようにとかは国に申し上げる事はしないと考えています。ただし、国民の理解を得ながら、十分に検証しながら進めていただきたいという事は伝えていきたいと考えています。